

STARTプログラム/START+プログラム募集要項（平成30年度後期）

STARTプログラム（海外経験の少ない学部1年次生対象）

- 第58回 ～オーストラリアの多文化社会～
- 第59回 ～ニュージーランド-自然との共生社会～
- 第60回 ～台湾の宗教と東アジア～
- 第61回 ～ベトナム戦争の痕跡とホーチミン市の発展を体感する～

START+プログラム

- 第4回 ～欧州統合自治・スペイン/カタルニア政治・文化・芸術～
(学部1・2・3年次対象)
- 第5回 ～カンボジアで学び実践する国際教育協力
(1) 教育の実態把握とプロジェクト立案～ (学部2・3年次生対象)

全コース
同時募集！！

1. STARTプログラム及びSTART+プログラムとは

START（スタート）プログラムの目的は、海外協定大学で、現地学生との交流・ディスカッションを行い、日本と異なる文化・環境を体験することで、国際交流や長期留学への関心を高めるきっかけをつくることです。

START+（スタートプラス）プログラムでは、STARTプログラムのステップアップ版として、より語学力強化に比重をおいた能力別授業などを行います。

いずれのプログラムにおいても、参加費用の一部をJASSO、広島大学基金及び広島大学等から補助することで学生の経済的負担を大幅に軽減し、より多くの学生が留学に挑戦する可能性を広げることを目指しています。

2. 教養教育科目「海外フィールドスタディ」/「海外フィールドスタディ・アドバンスト」(2単位)

STARTプログラムは教養教育科目「海外フィールドスタディ」として、START+プログラムは教養教育科目「海外フィールドスタディ・アドバンスト」として、実施します。Myもみじに掲載されているシラバスもご参照ください。

参加が決まった学生は、自動的に上記科目に履修登録されます。このプログラムは、広島大学の学生をグローバル人材として育成することを目指しており、以下のグローバル・コア・コンピテンシー（世界で通用する人材として必要となる能力）を向上します。

STARTプログラムで育成するグローバル・コア・コンピテンシー

- (1) コミュニケーション能力（国際的対話能力）
- (2) 自己管理能力
- (3) 成果を出す能力
- (4) 連携とネットワーク
- (5) 個性と文化の尊重

STARTプログラムでは、グローバル・コア・コンピテンシーは渡航前・渡航中・帰国後の3回にわたってグローバル・コア・コンピテンシーの自己評価を行い、行動計画を立てます。そして、担当教員のフィードバック（STARTプログラムの学生のみ）及び自己の振り返りをもとに行動計画を練り直し、実行に移します。成績評価では、参加態度・海外研修時の発表・帰国後のレポート等に基づき、総合的にグローバル・コア・コンピテンシーの向上を評価します。原則として、現地研修後のTOEIC®L&R IPテストスコアの提出及び渡航前・帰国後のBEVI-jテストの受験をもって単位を認定します。

3. プログラム共通項目

	START プログラム	START+プログラム
プログラム内容	海外協定大学等で2週間、講義やワークショップ、現地公用語の語学授業、現地学生との交流・ディスカッション、大学周辺及び周辺都市でのエクサカーションなどを行います。また、きめ細やかな事前研修・事後研修を通じて現地での体験をより効果的に吸収し、ふりかえり、内在化するプロセスをサポートします。	基本的なスケジュールは START プログラムと同様ですが、START プログラムのステップアップ版として、学習・生活の両面で学生の自律的な態度が求められます。事前・事後学習では学内の語学研修・語学教材の活用も推奨します。
対象学生	学生番号が B18 で始まる学部 1 年次生のうち「5.応募資格」を満たす者	学生番号が B17 で始まる学部 2 年次生及び学生番号が B16 で始まる学部 3 年次生のうち「5.応募資格」を満たす者。スペインのみ B18 で始まる学部 1 年次生も対象とする。
募集人数（最少催行人数）	オーストラリアとニュージーランドは 30 人（15 人） 台湾とベトナムは 24 人（12 人）	スペインは 24 人（12 人） カンボジアは 10 人（5 人）
学生負担費用	①プログラム参加費（ベトナム 6 万円、台湾 7 万円、カンボジア 10 万円、オーストラリアとスペイン 15 万円、ニュージーランド 19 万円） ②海外旅行保険料（大学指定のものに加入必須、約 9 千円） ③その他経費（パスポート申請費（5 年用 11,000 円、10 年用（※20 歳以上のみ）16,000 円）、日本国内交通費、現地交通費、お小遣い（食費含む）など） ※①プログラム参加費は、全体費用（航空券、査証（ビザ）申請料、宿泊費、プログラム費、一部の食事代）の一部に充当されます。 ※JASSO 海外留学支援制度（協定派遣）の支給要件を満たす方には一人あたり 6～8 万円の奨学金が支給されますが、本奨学金は全体費用の一部に充当させていただくため、奨学金支給後に、その同額を広島大学へお振り込みいただくことをご承願いたします。	
その他	本プログラムは、事前学習・事後学習を含むすべての行事に参加することが参加の条件です。また、現地研修終了後にレポートの提出、TOEIC(R)L&R IP テストの受験及びプログラム評価への協力が義務付けられています。	

4. プログラムの概要及び研修先の紹介

11 ページ「平成 30 年度後期実施プログラム一覧」をご参照ください。

5. 応募資格（選考基準）

START プロ グ ラ ム	a) 広島大学に正規生として在学する学生番号が B18 で始まる学部 1 年次生（所属学部は問わない。プログラム申請時～終了時の期間中に休学中・留学中の者及び留学生は除く） b) 国際交流や留学に高い関心を持っており、参加目的が明確で且つ向上心に富んでいること c) 事前学習・現地研修・事後学習の <u>すべてに参加</u> し、真剣に取り組むことが出来ること d) プログラム終了後、事業評価や広報活動に全面的に協力できること e) 13 歳以後から広島大学入学前までの間に、31 日以上連続した海外渡航・在住経験がないこと ※13 歳未満及び広島大学入学後の海外渡航・在住経験は不問とする。ただし、申請時には過去すべての海外渡航歴を記入すること。 f) 過去に START プログラムへの参加経験がないこと g) 英語力および広島大学 GPA を審査項目の一つとする。ただし、広島大学 GPA については、最低合格基準点は設けない。
START +(プ ラ ス) プロ グ ラ ム	a) 広島大学に正規生として在学する学生番号が B17 で始まる学部 2 年次生、学生番号が B16 で始まる学部 3 年次生。スペインのみ学生番号が B18 で始まる学部 1 年次生も対象とする。（所属学部は問わない。プログラム申請時～終了時の期間中に休学中・留学中の者及び留学生は除く） ※編入生も対象とする。ただし、編入生は申請時に前年度の成績と過去の TOEIC スコアを示す別の書類の提出が必要。 b) 国際交流や留学に高い関心を持っており、参加目的が明確で且つ向上心に富んでいること c) 事前学習・現地研修・事後学習の <u>すべてに参加</u> し、真剣に取り組むことが出来ること

	<p>d) プログラム終了後、事業評価や広報活動に全面的に協力できること</p> <p>e) 過去に START+プログラムへの参加経験がないこと</p> <p>f) 学部 2-3 年次生は、学部 1 年次 5 月受験の全学 TOEIC®L&R IP から平成 30 年 11 月時点までの英語力の伸び及び平成 30 年度前期までの広島大学通算 GPA を審査項目の一つとする。ただし、広島大学 GPA については、最低合格基準点は設けない。学部 1 年次生は、英語力を審査項目の一つとする。</p> <p>※START+プログラムについては、過去の海外渡航・在住経験は不問とする。ただし、申請時には過去すべての海外渡航歴を記入すること。</p>
--	---

6. 選考方法

応募者数の多少に関わらず、書類審査及び面接による選考を行う。

7. 募集から研修終了までの予定

*このプログラムの参加学生は、下記の行事すべてに参加できることが条件です。

*下記の予定はやむを得ない状況などにより、予告なく変更することがありますので、予めご了承ください。

*募集説明会は、東広島・霞いずれの会場でも、学部問わず参加可能です。

*START+プログラムの参加学生は、下記日程以外に別途日程調整のうえ事前研修を行うことがあります。

2018 年 10 月 26 日(金)	募集要項公開
10 月 30 日(火)12:05-12:35	<p>【東広島会場】 募集説明会開催 (総合科学部 L102 教室)</p> <p>【東千田地区会場】 募集説明会(ライブ配信)開催 (東千田 A402 教室)</p> <p>※同じ内容ですのでいずれかにご参加ください。</p>
10 月 29 日(月)10:00~ 11 月 11 日(日)23:59	<p>重要 オンラインフォーム入力受付期間(時間厳守)</p> <p>☞ 入力完了時刻が 11 月 11 日(日)23:59 を過ぎないように、あらかじめ申請に必要なデータを用意し、時間に余裕をもって(できる限り 11 月 9 日までに)入力してください。</p> <p>☞ 受付期間終了後及び事務室開室時間外の問い合わせには応じかねますので、オンライン申請に関する質問等は、11 月 9 日(金)17:00 までにお知らせください。</p> <p>☞ 全学 TOEIC 受験者以外は、英語能力を証明する書類の写しをメールで start@hiroshima-u.ac.jp へ別途提出してください。</p>
11 月 12 日(月)13:00 まで	オンライン申請確認期間(メールで受付)
11 月 30 日(金)17:00 まで	書類審査結果発表 (My もみじ個人掲示)
12 月 4 日(火)16:20-20:30	面接審査【ニュージーランド】【オーストラリア】【スペイン】(東広島キャンパスで実施予定、霞・東千田所属学生は全員 SKYPE 面接)
12 月 5 日(水)16:20-20:30	面接審査【台湾】【ベトナム】【カンボジア】(東広島キャンパスで実施予定、霞・東千田所属学生は全員 SKYPE 面接)
12 月 7 日(金)17:00 まで	面接審査結果発表 (My もみじ個人掲示)
12 月 8 日(土)10:00-12:00 (9:30 受付開始)	初回合同オリエンテーション【全員】(総合科学部 L102 講義室) * 今後の手続き説明など
12 月 8 日(土)13:00-17:00	国別オリエンテーション及び事前講義①【台湾】(教室未定)
12 月 8 日(土)13:00-16:30	国別オリエンテーション及び事前講義①【オーストラリア】(教室未定)
12 月 8 日(土)13:00-16:00	国別オリエンテーション及び事前講義①【ニュージーランド】(教室未定)
12 月 8 日(土)13:00-16:30	国別オリエンテーションおよび事前講義①【ベトナム】(教室未定)
12 月 8 日(土)13:00-17:00	国別オリエンテーション【カンボジア】(教室未定)
12 月 11 日(火)18:10-20:00	事前講義②【ベトナム】(学生プラザ4F 多目的室)
12 月 17 日(月)18:10-20:00	海外渡航リスク管理セミナー(総合科学部 L102 講義室、霞地区は医学部第 5 講義室)

12月18日(火)~12月27日(木)	A型肝炎予防接種1回目【ベトナム】(指定病院) ※霞・東千田所属学生については別途通知
12月20日(木)18:10-20:30	国別オリエンテーションおよび事前講義①【スペイン】(教室未定) (社会科学研究科人権プログラムと合同開催予定)
12月21日(金)17:15	パスポート提出〆切【スペイン】
2019年1月7日(月)17:15	パスポート提出〆切【スペイン以外の全ての学生】
1月12日(土)9:00-12:00	事前講義②【カンボジア】(教室未定) (変更の可能性あり)
1月15日(火)~1月26日(土)	A型肝炎予防接種2回目【ベトナム】(指定病院)
2月1日(金)18:10-20:30	渡航前オリエンテーション【スペイン】(START プラス)
2月2日(土)13:00-16:00	グループ発表および渡航前オリエンテーション【カンボジア】(教室未定)
2月14日(木)10:00-12:00	渡航前合同オリエンテーション【参加者以外全員(START プラス除く)】(教室未定)
2月14日(木)13:00-17:00	グループ発表【オーストラリア】(教室未定)
2月14日(木)13:00-16:00	グループ発表【ニュージーランド】(教室未定)
2月14日(木)13:00-16:00	グループ発表【台湾】(教室未定)
2月14日(木)13:00-16:00	グループ発表【ベトナム】(教室未定)
2月15日(金)~3月3日(日)	渡航期間(国内空港集合・解散)【スペイン】(START プラス)
2月22日(金)~3月11日(月)	渡航期間(国内空港集合・解散)【オーストラリア】
2月24日(日)~3月4日(月)	渡航期間(国内空港集合・解散)【カンボジア】(START プラス)
3月1日(金)~3月18日(月)	渡航期間(国内空港集合・解散)【ニュージーランド】
3月3日(日)~3月17日(日)	渡航期間(国内空港集合・解散)【台湾】
3月12日(火)~3月27日(水)	渡航期間(国内空港集合・解散)【ベトナム】
3月14日(木)13:00-16:00	事後研修・修了証授与【オーストラリア】(学生プラザ4F 多目的室)
3月28日(木)9:30-12:00	事後研修・修了証授与【ベトナム】(教室未定)
3月28日(木)13:00-16:00	事後研修・修了証授与【ニュージーランド】(学生プラザ4F 多目的室)
3月29日(金)13:00-16:00	事後研修・修了証授与【カンボジア】(教室未定)
4月第1週 18:10-20:30	事後研修・修了証授与【台湾】(教室未定)
2019年5月上旬の(土)(未定)	TOEIC(R)L&R IPテスト希望受験(無料) ※要事前申込
2019年 5月17日(金)17:00まで	現地研修終了後に学内外で受験した TOEIC® L&R テストのスコアを証明する書類の写しの提出期限(受験料自己負担)【5月上旬の全学一斉テストが受験できない学生のみ】

8. 応募方法

応募は、次ページの手順でオンライン申請を行い申請書の PDF をダウンロードすることにより完了します。オンライン申請をしても応募書類がシステムに入力できていなければ、応募完了とはみなしません。また、編入生については、オンライン申請の他に別途書類提出が必要です。書類提出（編入生対象）を参照してください。

START プログラムでは、第 58-61 回（オーストラリア、ニュージーランド、台湾、ベトナム）の参加者の募集・選考を同時に行います。START+プログラムでは、第 4-5 回（スペイン・カンボジア）の募集・選考を同時に行います。派遣先は第 2 希望まで申し込み可能です。志望理由（1000 文字以内）には、第 1 希望・第 2 希望の志望理由がそれぞれ分かるように記載してください。

START プログラムでは、英語圏欧州圏の国（オーストラリア、ニュージーランド） 同士の併願はできません。アジア圏の国（台湾、ベトナム）は、英語圏の国またはアジア圏の国との併願も可能です。START+プログラムでは、学部 2~3 年次生はスペインとカンボジアを併願することは可能ですが、学部 1 年次生で START+プログラムに応募する学生は、スペインのみしか応募できません。なお、学部 1 年次生が START プログラムと START+プログラムを併願することはできません。

書類提出（START+プログラムに申請する編入生のみ）

START+プログラムに申請する編入生は、以下 1) 2) の書類を **2018 年 11 月 9 日（金）17:00 までに** 学生プラザ 2F 国際交流グループへ提出してください。オンライン申請のみで書類提出がない場合、申請を受け付けません。

《提出書類》

- 1) 平成 29 年度に在籍した学校の学業成績を証明する書類の写し（授業科目ごとの評価が記載されたもの）
 - 2) 平成 28~29 年度の間に受験した英語能力検定（TOEIC 等）のスコアシートの写し
- ※スコアが複数ある場合はすべて提出してください

オンライン申請（全ての応募者）

受付期間： 2018 年 10 月 29 日（月）10:00 ~ 11 月 11 日（日）23:59【厳守】

オンラインフォームは上記の期間中、下記のページにてリンクを公開します。

もみじ Top> 学びのサポート> 留学> START プログラム

URL : <https://momiji.hiroshima-u.ac.jp/momiji-top/learning/start.html>

必ず事前に本募集要項 6 ページ「オンライン申請時の注意事項」及び 7 ページ「入力項目一覧」を確認し、入力に必要な情報を準備してください。

システムの都合等でオンライン申請が完了できない場合（PDF が保存できなかった場合）は時間を空けて再度入力してください。もし再度入力しても PDF が保存できなかった場合、オンライン申請期間内に start@hiroshima-u.ac.jp へ学生番号を明記の上連絡してください。オンライン申請期間後の入力や問い合わせは原則として受け付けられませんので、時間に余裕をもって入力してください。

また、申請内容に誤りがあった場合、オンライン申請期間中に再申請を行うか、下記問合せ先に連絡してください。特に「申請するプログラム第 1・2 希望」と「面接時間の授業予定の有無」に誤りがあった場合、希望するコースの面接を受けられない可能性があります。オンライン申請期間後の修正依頼は受け付けません。

オンライン申請時の注意事項

- a) 入力には必ずパソコンを使用してください。スマートフォン、タブレット端末は使用できません。
- b) 入力を始める前に、次ページの入力項目リストを確認し、志望理由書やパスポートの情報など、入力に必要な情報をすべて準備してください。途中でやめた場合、入力内容は保存されません。特に、志望理由書はスペースを含め 1000 文字までしか入力できませんので、あらかじめ Microsoft Word 等を使用して下書きを作成し、文字数を確認しておいてください。
- c) 確認画面で「同意して申込み」ボタンを押した後、入力フォームに戻ることは出来ません。よく確認して送信してください。必須項目に記入漏れがある場合は「同意して申込み」ボタンが表示されません。
- d) 一度入力・送信した後に、再度入力・送信を行うと、複数のデータが登録されます。その場合は、一番後に登録されたデータが選考に使用されます。
- e) 確認画面のあとに、PDF をダウンロードして終了する画面が出てきます。**ダウンロード**と**終了**の2つのボタンがありますが、必ず**ダウンロード**ボタンをクリックしてください。ダウンロードした PDF は必ず自分のパソコンに保存してください。万が一 PDF を保存せずに**終了**してしまった場合や、入力エラーは、再度入力はせず、オンライン申請受付期間内に、速やかに窓口にご相談に来てください。
- f) 国籍を複数有している場合は全てを記載してください。
- g) 海外渡航経験がある場合は、過去全ての渡航経験について期間・国名・目的を記入してください。
- h) 電話番号とメールアドレスは、必ず連絡のつくもの、毎日確認するものを記入してください。日常的に使用している PC メールが無い場合は、広大メールアドレスを記入し、今後これを確認するようにしてください。
- i) 保護者または保証人の E-mail アドレスは使用しているものがある場合のみ記入してください。
- j) 渡航中の連絡先は、主に渡航中の緊急時に使用するものですので、必ず連絡のつく電話番号を記入してください。
- k) 健康面などで特別なサポートが必要な場合は、健康状態の欄に出来るだけ具体的に記入してください。
- l) 申込み・参加にあたり懸念事項がある場合には、特記事項欄に記入してください。
- m) オンラインフォームを入力しても、PDF ダウンロードを確認するまで申込みは完了しませんのでご注意ください。
- n) 入力した項目に事実と異なる記載があれば、いかなる理由においても失格とみなします。万が一、参加決定後にこのような事態が発覚した場合には、その時点で参加資格を失いますので、よく注意してください。特に過去の渡航歴等においては、各自でよく確認しておいてください。

オンライン申込みフォーム 入力項目一覧

1. 申請するプログラム (第1希望, 第2希望)
 2. カナ氏名
 3. 漢字氏名
 4. ローマ字氏名
 5. 学部・学科
 6. 学生番号
 7. 生年月日
 8. 性別
 9. 国籍
 10. 海外渡航経験の有無 ※有りの場合は出来るだけ詳しく書いてください。(国・期間・目的など)
例:「2005年5月1-3日(3日間)家族旅行・マレーシア」
 11. 英語能力
○5/12 または 5/26 に大学で受験した TOEIC(R) L&R IP テスト (及び1年次5月に大学で受験した TOEIC(R)L&R IP テスト※平成28・29年度入学生のみ) の成績を使用することに同意します。
○5/12 または 5/26 に大学で行われた TOEIC(R) L&R IP テスト以外のスコアを使用したいため、語学能力を証明する別の資料をオンライン締切日(11/11)までにメールで提出します。
* 語学能力を証明する資料の詳細
例:「TOEIC 公式テスト2016年8月10日受験 530点」,「英検2級 2016年9月合格」
○5/12 または 5/26 の TOEIC(R) L&R IP テストを受験しておらず、語学能力を証明する別の資料もありません。
 12. パスポートの有無(すでに失効したものも含む)
※有効なものがある場合は、有効期限とパスポート番号を記入;失効したものがある場合は失効日を記入
 13. 健康状態 ○良好 ○配慮が必要 ○アレルギーなど
 14. 現住所
 15. 電話番号(携帯)
 16. メールアドレス(携帯)
 17. メールアドレス(パソコン)
 18. 保護者または保証人氏名, 続柄
 19. 保護者または保証人住所
 20. 保護者または保証人電話番号
 21. 保護者または保証人メールアドレス
 22. 渡航中の緊急連絡先電話番号
 23. その他, 特記事項
 24. 面接予定日の授業の有無 ※授業以外の事由による面接日時の調整はできません
 25. アンケート: 本プログラムを何で知りましたか?
 26. 志望理由書(このプログラムに参加して学びたいこと, 経験したいことは何ですか? また, その学びや経験を, 今後どのように生かしていきたいですか? 第2希望がある場合は, 第1希望・第2希望の志望理由がそれぞれ分かるように記載してください。(1000文字以内: スペースを含む))
 27. START プログラム及び START+プログラム申込みにあたっての注意事項同意確認
「上記, 記載事項はすべて事実と相違ありません。事実と異なる記載をしたことが判明した場合, 参加資格を失うことを了解しています。また, 第58-61回 START プログラム及び第4-5回 START+プログラム募集要項をよく読み, プログラム内容及び注意事項をすべて理解し, 同意しています。前期の学業成績(及び学部2~3年次生のみ前年度の学業成績)(広島大学 GPA)を START プログラム審査に使用する旨を同意しています。」
- ※ 入力した内容を再度確認してから, 「同意して申込み」ボタンを押してください。
- ※ この申込書に入力していただく個人情報, START プログラム及び START+プログラムの運営のために利用するものであり, この目的以外で利用したり第三者へ提供したりすることはありません。

11. 選考方法と結果の発表

- a) 書類審査結果は2018年11月30日(金)17:00までに「Myもみじ個人掲示」にて通知します。掲示が遅れる場合には、応募者全員に「Myもみじ個人掲示」にて事前に通知しますが、万が一、上記期日までに掲示が表示されない場合は、国際交流グループ担当者にご連絡ください。
- b) 書類審査通過者は、面接を行いますので、指定された日時の面接に出席してください。各自の面接時間は、書類審査の結果と一緒に通知します。いかなる理由でも、この面接に出席できない方は、本プログラムに参加することができません。
面接の結果は2018年12月7日(金)17:00までに「Myもみじ個人掲示」にて通知します。掲示が遅れる可能性がある場合には、応募者全員「Myもみじ個人掲示」にて事前に通知しますが、万が一、上記期日までに掲示が表示されない場合は、国際交流グループ担当者にご連絡ください。
- c) 選考に合格し、内定者となった方は、必要書類の提出と参加費用の振り込みをもって正式に参加者として決定します。手続きの詳細は、初回合同オリエンテーションでご案内します。
- d) 応募者多数の場合、各プログラム3~5名まで次点候補者(キャンセル待ち)を選出します。
- e) 書類・面接とも審査結果についての問合せ・苦情は一切受け付けませんので予めご了承ください。

12. その他注意事項

- a) 必ず保護者または保証人の方の同意を得てから申し込んでください。参加内定後に参加学生および保護者／保証人より同意・誓約書を提出していただきます。
- b) スペインの参加内定者は2018年12月21日(金)まで、その他すべての参加内定者は2019年1月7日(月)17:15までに、有効なパスポートのコピーが提出できない場合、参加できません。有効なパスポートをお持ちでない方は、すぐに申請・更新手続きをしてください。参加が決定するまでは申請が難しい場合でも、あらかじめ申請に必要な書類を準備しておいてください。パスポートの申請には、住民票、戸籍抄本など役所から取り寄せなければならない書類や、未成年の場合は申請書に保護者の署名が必要で、実家が遠方の方は必要書類をそろえるのに時間がかかります。また、通常は申請から受領までに8営業日(土日祝・年末年始を除く)かかり、必ず申請者本人が申請した役所の窓口に取りに行く必要があります。詳しくは下記ホームページを参照してください。
【外務省】http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/passport/pass_2.html
【東広島市】<http://www.city.higashihiroshima.lg.jp/kurashi/todokede/1/10546.html>
また、外国籍の学生は、渡航に際しビザ(査証)等の取得が必要な場合、各自で責任をもって申請方法を調べ、渡航に間に合うよう速やかに申請手続きをしてください。ビザ(査証)等の取得にかかる費用は参加学生の自己負担となります。
パスポートやビザ(査証)等取得の遅れにより参加できなくなった場合、広島大学は責任を負いません。
- c) 参加者には全てのオリエンテーションと事前講義、リスク管理セミナー、事後研修への出席が義務付けられていますので、3~4ページの予定表に書かれている日程を必ず空けておいてください。自己都合(アルバイトやサークル活動なども含む)によりオリエンテーション、事前講義、リスク管理セミナーに欠席した方は参加を取り消す場合があります。
- d) 申請書の記載事項に変更があった場合には速やかに担当者に連絡してください。
- e) 自然災害、国際情勢や航空会社、研修先などの事情により急な中止ならびに変更が生じることがありますので、あらかじめご了承ください。
- f) 参加者には緊急対策として全員、現地で使える携帯電話を各自で準備していただきます。
- g) 東南アジア圏(ベトナム)に参加される方は、参加が決まったら、大学の指定する病院で指定された期間に2回、A型肝炎の予防接種を受けてください。この予防接種費用は、大学が負担します。

13. Q&A

Q. 教養教育科目の授業登録をせずに、本プログラムに参加することはできますか？

A. いいえ、できません。参加が決まった学生は国際交流グループにて登録手続きを行います（もみじでの登録はできません）。

Q. (学部1年次生のみ) 前期STARTプログラムに参加しましたが後期STARTプログラムも応募できますか？

A. いいえ、STARTプログラムは一人一回しか参加できません。なお、前期に申請して参加できなかった方は、後期に再応募可能です。前期の審査結果が後期の審査に影響することはありません。

Q. (学部2・3年次生のみ) 1年次にSTARTプログラムに参加しましたがSTART+プログラムにも応募できますか？

A. はい。応募資格を満たす学生であれば、STARTプログラムの参加経験の有無また過去の渡航履歴に関わらず、START+プログラムに応募できます。1年次のSTARTプログラムの審査結果及び成績等がSTART+プログラムの審査に影響することはありません。ただし、START+プログラムは一人一回しか参加できません。

Q. 本プログラムへの参加にあたり、英語力はどのくらい必要ですか？

A. どのプログラムでも英語または現地公用語で教授される講義や研修がありますし、現地の人々と英語または現地公用語で交流する機会が多くありますので、ある程度の英語力及び英語や現地公用語でコミュニケーションを取ろうとする意欲や積極性が求められます。なお、過去のSTARTプログラム参加者の報告書にも、必要な英語力や、語学学習に関するアドバイスが掲載されています。報告書のファイルは、学生プラザ3Fロビーの留学情報コーナーに派遣大学別に設置していますので、参考にしてください。

Q. 申込書に記入する海外渡航経験に、海外旅行は含まれますか？

A. はい。個人旅行や修学旅行、留学、家族との移住など、海外に渡航した経歴はすべて記入してください。広島大学のプログラムの場合は、プログラム名も記載してください。

Q. 外国籍の学生でも申し込めますか？

A. はい、申し込めます。国籍は問いません。渡航に際しビザ（査証）等の取得が必要な場合、各自で責任を持って申請方法を調べ、渡航に間に合うよう速やかに申請手続きをしてください。ビザ（査証）等の取得にかかる費用は参加学生の自己負担となります。ビザ（査証）等取得の遅れにより参加できなくなった場合、広島大学は責任を負いません。

Q. 参加が決定した後、途中で自己都合により参加を取り消した場合、キャンセル料が発生しますか？

A. 原則、パスポート提出期限日以降にキャンセルした場合、返金されません。

Q. 次点候補者（キャンセル待ち）の場合、いつまでに参加できるかどうか分かりますか？

A. キャンセルが出た場合は、各コースのパスポート提出〆切日までにご連絡します。その時点でパスポートを所持していない場合は、権利が次の方に移りますのでご注意ください。

Q. このプログラムに参加すると、交換留学やHUSAのショートプログラム、その他の留学プログラムへの応募の際、影響がありますか？

A. 国際交流グループが担当する留学プログラムについては、原則として、本プログラムへの参加が他の留学プログラムへの妨げになることはありません。給付奨学金やプログラム費等の経済支援を伴う短期（1ヶ月未満）のプログラムの場合は、優先順位が下がる可能性があります。各学部等が実施するプログラムについては、それぞれの担当窓口にお問い合わせください。

Q. お小遣いはいくら持っていけばいいですか？

A. 個人差もありますしレートや渡航先にもよりますが、目安としては3~5万円程度あれば十分でしょう。派遣先によっては滞在中の食事代もお小遣いの中から支払うことになるので、その費用とお土産代と考えてください。

Q. 東南アジア圏（ベトナム）に参加するための予防接種は指定病院で受けなければいけませんか？かかりつけの病院で受けてもいいですか？

A. 指定以外の病院で受けても構いませんが、その場合は費用が自己負担になり、別途、証明書を提出していただく必要があります。

その他、東南アジアへの渡航に際してはB型肝炎、破傷風、狂犬病、日本脳炎の予防接種が推奨されています（厚生労働省）。心配な方は、任意・自己負担にて予防接種を受けてください。

Q. クレジットカード付帯の海外旅行保険など他社の保険を使用できるので、広島大学指定の海外旅行保険に加入しなくてもよいですか。

A. 本プログラム参加学生には、広島大学指定の海外旅行保険への加入を義務付けています。団体での海外渡航では、全員が同じ大学指定の保険に加入することで適切なサポートが可能になります。大学指定の保険に加入していなかった場合、例えばご自身が現地で病院にかかっても一人に対応することは困難です。何かトラブルがあった際に、同じプログラムの参加者全員に影響することになりますので、必ず広島大学指定保険に自己負担で加入いただくことをご了承のうえ、ご参加ください。

【参考：広島大学海外渡航リスク管理マニュアル（学生編）より抜粋】

本学のプログラムで海外渡航する学生は、本学が包括契約を結んでいる東京海上日動火災保険の「トータルサポートサービス」付き「海外旅行傷害保険」への加入を原則としています。

「トータルサポートサービス」とは、指定のアシスタンス社が保険加入学生からの照会・相談等に24時間365日対応するサービスで、相談内容は、体調不良、けが、盗難、事故等何でも受け付けており、その内容は本学にも報告されるため、状況に応じた迅速な対応が可能です。

保険の内容に関する問合せ及び加入申請については、学生プラザ3F国際交流グループで受け付けています。

Q. 現地研修終了後に受験するTOEIC(R) L&R テストの受験料は自己負担ですか？

A. 現地研修終了後に受験するTOEIC(R) L&R テストの受験料は参加学生の自己負担となりますが、5月及び11月に実施される全学一斉TOEIC® L&R IP テスト希望受験（無料）や、授業の一環として受験したTOEIC(R) L&R テストのスコアも利用できます。

<問合せ先>

広島大学国際室国際部 国際交流グループ（学生プラザ2F） 担当：高・佐々木
TEL:082-424-4346 または 4551 FAX:082-424-4545 E-mail: start@hiroshima-u.ac.jp

※対応時間は、平日（土日祝除く）の8:30~17:15です。

※申請に関する質問は、募集説明会の際か、上記問い合わせ先にご連絡ください。

※お問い合わせの際は、学年・氏名・ご用件（第何回のSTARTプログラムに関する事か）を明記/明言してください（Eメールには必ず件名・署名を付けてください）。

平成30年度後期 START/START+プログラム一覧

※平成30年9月現在の予定です。プログラム内容は予告なく変更する可能性があります。

プログラム名/ 研修先大学等	渡航期間/定員/ 参加費 (*注)	主な研修内容 (予定)	引率	宿泊場所	研修先大学等の紹介	研修先地域・都市の紹介
第58回 オーストラリアの多文化 社会 フレリダース大学 (オーストラリア)	2月22日(金)～ 3月11日(月) (17泊18日) 定員: 30人 参加費: 15万円	◆フレリダース大学附属語学学校の教員による特別授業 ・ オーストラリアの直面する諸問題、歴史、教育 ・ 英語研修 ◆プレゼンテーション・ディスカッション技能の習得 ◆フレリダース大学の学生とのディスカッション・交流 ◆フレリダース大学の通常授業への参加 ◆現地小学校での日本文化紹介 ◆アデレード市内での研修(南オーストラリア博物館、ランドル・モール等) ◆アデレード周辺地域のエクスカージョン(ワイルドライフパーク等) ◆全期間ホームステイ	総合戦略室 渡邊恵 講師 ほか	ホームステイを予定 (1~2人/家庭) ※他国留学生と同家庭 の場合もあります	【フレリダース大学】 http://www.flinders.edu.au/ アデレード市街の郊外に位置する1966年創設の公立大学。大学名は、19世紀初頭にオーストラリアを船で開拓し、この大陸を「オーストラリア」と呼ぶことに貢献した探検家マシュー・フレリダースに由来しています。革新的で質の高い授業内容と教授法に定評があり、宇宙飛行士の毛利衛氏が博士課程を修了したことも知られています。学部は、教育・人文・法学部、医・看護・健康科学部、理工学部、社会・行動科学部などで構成。移民と大洋の国であるオーストラリアを象徴するように、世界でも珍しい海洋考古学などの専攻もあります。世界100カ国以上から留学生が集まり、留学生約4,100名を含む約24,000名の学生が在籍(2014年統計)。なお、広島大学とは2008年から協定を結んでいます。	【アデレード市】 アデレードは南オーストラリア州の州都で、人口は120万人、国内5番目の都市。「自由移民」によってつくられた街です。都市名は19世紀前半の英国王妃の名に由来しています。計画設計都市であり、市街は整然とした格子状の街路と公園で構成され、ヴィクトリア期のコロニアル様式の建築が多数残っています。中心部の歩行者街路「ランドル・モール」にはヨーロッパ風のアーケード街もあります。また、アデレードには、アメリジニの美術や工芸に関する世界一のコレクションを誇る南オーストラリア博物館も存在し、文化施設も充実しています。郊外には、アデレードヒルズという美しい丘陵地帯、海浜リゾート地グレンエグがあり、自然に親しむこともできます。オーストラリアの野生動物の多くが棲むカンガルー島へのアクセスもこの街が基点となっています。
第59回 ニュージーランド-自然 との共生社会- オークランド大学 (ニュージーランド)	3月1日(金) ～3月18日(月) (17泊18日) 定員: 30人 参加費: 19万円	◆マオリ文化による歓迎儀式 ◆オークランド大学教員による特別授業・NZの歴史、教育、文化 ◆英語研修 ◆現地学生とのディスカッション・交流 ◆オークランド大学の通常授業への参加 ◆小学校訪問と日本文化紹介プレゼンテーション ◆Walkerランド市内のNZの歴史・文化に関する施設訪問による研修 ◆オークランド郊外の自然の中でアウトドア活動体験 ◆全期間ホームステイ	教育学研究科 Brett Walter 講師 ほか	ホームステイを予定 (1~2人/家庭) ※他国留学生と同家庭 の場合もあります	【オークランド大学】 http://www.auckland.ac.nz/ 1883年に創設されたオークランド市街に位置するニュージーランド最大規模の国立大学。2016-17年のQS世界大学ランキングは82位、国内で最上位の大学です。研究を主導し、その卓越した教育および社会への貢献で知られています。キャンパスは6つあり、教育、人文、法、経済・経営、芸術・芸術工学、工、理、神、医学・健康の9学部によって構成され、留学生6,010名を含む約44,000名が学んでいます(2014年統計による)。広島大学とは1979年から協定を結んでいます。	【オークランド市】 ニュージーランド北島に位置し、人口約150万人の商業地区を有するニュージーランド最大の都市。海に面した地形から海上交通が栄え、「帆の街」という愛称で親しまれており、港には多数の小型船舶が停泊し、ハーバークルーズやセーリングが盛んです。オークランド博物館やホウ・トゥック歴史村など居住民や開拓民、戦争に関する施設があります。郊外には、アデレードヒルズという美しい丘陵地帯、海浜リゾート地やワン・トゥー・ヒル、市街地の対岸に位置する歴史的町並みの残るデボンポートがあります。
第60回 台湾の宗教と東アジア 国立中央大学 (台湾)	3月3日(日) ～3月17日(日) (14泊15日) 定員: 24人 参加費: 7万円	◆台湾の寺院の参拝。 ◆台湾の原住民族と移民、そしてそれぞれの信仰、伝統文化と相互の融合を考える。 ◆中国語または英語研修(中国語クラスと英語クラス分けあり) ◆現地教員による講義 ◆国立中央大学学生との英語、中国語、日本語による交流。 ◆台湾南部地方への研修旅行(2泊3日) ◆文化体験研修 ◆台北市内グループ研修 ※輔仁大学で中国語研修(3月中旬～3月末頃の約2週間)が実施される場合、連続して参加することも可能(費用は別途1～8万円程度。プログラム実施の有無は後日掲示します)	総合科学 研究科 荒見泰史 教授 ほか	国立中央大学の学生宿 舎を予定	【国立中央大学】 国立中央大学は、1915年に中国南京で創立された南京師範高等学校を前身として、1962年に台湾で中央大学地球物理研究所として復活し、更に1979年には正式名称も国立中央大学と称され、高等教育と研究機関として誕生し、国立総合大学として現在に至っています。現在、文学、理学、工学、経営、保健科学等8つの学部と多くの研究所を有し、最先端の学術・研究を行っている国内トップクラスの大学として知られています。また、北米・欧州・アジアの世界180以上の大学を協定を結んでおり、広島大学とは2009年から協定を結んでいます。	【桃園市】 中華民国北西部に位置する、中華民国行政院の直轄市。台湾の中心的都市である台北市の西に位置しており、台湾の空の玄関口である台湾桃園国際空港が立地している。 【台北市】 台湾最大の都市圏である台北市圏の中核都市であり、アジア屈指の世界都市でもあります。台北市には、近代的大通りの風景が見られるだけでなく、火山地形と知られている陽明山国家公園や「故宫博物院」など多数の観光地があり、モダンと伝統が織り成すコントラストを感じられる都市です。
第61回 ベトナム戦争の痕跡と ホーチミン市の発展を体 感する ベトナム国家大学ホーチミン市校 人文社会科学大学 (USSH)、広島大学ベト ンセンター(ベトナム)	3月12日(火)～ 3月27日(水) (15泊16日) 定員: 24人 参加費: 6万円	◆USSHの教員による授業 ・ ベトナム語入門 ・ ベトナムの社会と文化、経済、ホーチミン市の歴史、戦争体験談、日越関係 など ◆ベトナムの学生とのディスカッション(平和な世界を作るために私たちに出来ること、日本とベトナムの環境や学生生活の違いについてなど) ◆戦争関連施設等見学 ・ 戦争証跡博物館、統一会堂(旧南ベトナム政府大統領官邸)、カンザー自然保護区、クテンネル、歴史博物館など ◆日系企業、JICA訪問 ◆現地学生との交流、1日ホームビジット、孤児院訪問 ◆ホーチミン市内グループ研修	教育学研究科 BABALOLA MICKY AMUNE 助教 ほか	大学から徒歩圏内の学 生宿舎(2人1部屋)を 予定	【ホーチミン市人文社会科学大学(USSH)】 http://en.hcmussh.edu.vn/ ベトナム国家大学ホーチミン市校(VNU HCMC)の中の専門大学の一つ。ロシアやポーランド、アメリカ、オーストラリア、フィリピン、韓国、日本など世界中の様々な国出身の教員による18学科500科目の授業が行われています。USSHには日本語部があり、日本に興味を持った勉強している学生もたくさんいます。2010年11月に広島大学ベトナムセンターをUSSH内に開設しました。	【ホーチミンシティ】 ベトナム戦争終結後、1975年に解放されるまでは首都「サイゴン」として栄えたベトナム最大の商業都市です。フランス植民地時代のコロニアル様式の建物に代わり現在は高層ビルが増えましたが、市場や裏通りには昔と変わらない街並みも残っています。通りやロータリーはバイクであふれかえっており、経済成長の熱気を肌で感じられる都市です。
第4回START+(プラス) 欧州統合と自治・スペイン /カタルニアの政治・ 文化・芸術 ロビエラ・イ・ビルジリ 大学(URV) (スペイン)	2月15日(金)～ 3月3日(日) (16泊17日) 定員: 24人 (1・2・3年生対 象) 参加費: 15万円	◆URV教員による授業 ・ スペイン語(レベルにより2クラス) ・ カタルニア・スペインに関する授業(英語) 文化(モダニズム(ガウディ)、ユネスコ無形文化遺産としての地中海料理)、宗教と現在の生活、歴史(近代+カタルニアとスペイン)、ツーリズム(世界遺産とツーリズム)、ローマ帝国とCivil Engineering等4-5のトピック ◆ワークショップ(毎日)スペイン人学生と授業内容・スペイン語レッスンについて(日本人学生4-5名に対しスペイン人学生1名) ◆スペイン内戦跡地での平和研修 ◆レウスでの研修(モダニズム建築) ◆バルセロナでのグループ研修 ◆全期間ホームステイ	社会科学 研究科 西谷元 教授 ほか	ホームステイを予定 (2人/1家庭) ※他国留学生と同家庭 の場合もあります	【ロビエラ・イ・ビルジリ大学(URV)】 http://www.urv.cat/en_index.html 1991年にカタルニア自治州政府によって新たに設立されたカタルニア地方の名門公立大学。16世紀を起源とするタラゴナ大学の復活とされ、現在は、40以上の学部・コースと50の修士課程・コースとその後の博士大学院、そのほかにも生涯学習コースなどがあり、15,000人以上の学生が学んでいます。教育の高さやその卓越した研究活動により、カタルニア地方だけでなくヨーロッパの中核トップクラスの大学とされています。広島大学とは2015年から協定を結んでいます。	【タラゴナ市】 タラゴナはスペイン・カタルニア州タラゴナ県にあり、バルセロナの南約100kmに位置する地中海沿いの風光明媚な町です。古代ローマ時代は「タラゴラTarraco」と呼ばれ、イベリア半島最大の都市として君臨していました。今でも町のあちこちにローマ時代の遺跡が残っており、それらは「タラゴラの考古遺跡」として2000年にユネスコの世界遺産に登録されています。地中海の青い海を背にした円形競技場、タラゴナを代表する風景です。今日、良好に保存されている遺跡からは当時の繁栄ぶりを窺い知ることが出来ます。人口は約11万人。
第5回START+(プラス) カンボジアで学び実践する 国際教育協力(1): 教育の実態把握とプロ ジェクト立案 広島大学—カンボジア王 国教育、青年、スポーツ 省連携センター 他 (カンボジア)	2月24日(日)～ 3月4日(月) (8泊9日) 定員: 10人 (2・3年生対象) 参加費: 10万円	◆カンボジアの教育や国際教育協力で活躍する人たちが学ぶ。 ・ カンボジア教育省、シェムリアップ州教育局訪問・講義 ・ フノンベンTEC(Teacher Education College)訪問・講義 ・ JICAカンボジア事務所訪問・講義 ◆現地で活動する教育系NPO法人等訪問・講義 ◆カンボジアの学校等で自分たちで調査する。 ◆現地小学校等で実地調査 ◆カンボジアの学生たちとともにプロジェクトを構築する。 ◆現地学生(TEC、RUPP)との交流・協働 ◆PCM-PDMワークショップで、プロジェクト・サイクル・マネジメント(PCM)に基づき、プロジェクト・デザイン・マトリックス(PDM)によるプロジェクト計画・評価を構築する。 ◆その他 ・ シェムリアップでの歴史文化研修(世界遺産アンコールワット等の足跡訪問) ・ フノンベンでの平和学習(トゥール・スレン虐殺犯罪博物館訪問) ※一部「PEACE学生交流プログラム カンボジア・スタディツアー」との合同実施	教育学研究科 桑山尚司 講師	ホテルを予定(2人/1 室)	【カンボジア教育・青年・スポーツ省(MoEYS)】 教育行政を司るMoEYSでは、広島大学で学び学位を取得した留学生が多数活躍しています。また、様々な広島大学教員が、JICAの理数科教育支援、NPOの教育行政大学院設置支援、広島県の社会科教科書開発支援等でもMoEYSに協力してきました。2016年に包括協定を締結、2017年に連携センターを開設しました。 【フノンベン教員養成大学(P-TEC)】 2018年11月にフノンベンに設立予定の教員養成大学。同国の小・中学校教員養成は、2年制から4年制に移行する教育改革の過程にあります。新しい4年制大学であるTECが、同国でこれからの教育を支える教師を育てていきます。広島大学はJICAによるTEC設立のための基盤構築事業にも協力しています。 【王立フノンベン(RUPP)】 1960年、シムヌーク前国王によりフノンベンに設立された王立大学。理学、人文・社会科学、工学、教育、開発学を学ぶコースと外国語研究所からなり、同国の高等教育機関の中心。広島大学とは2016年から協定で留学交流を行っています。	【フノンベン】 メコン川とトンレサップ川の合流点に位置するカンボジアの行政・経済の中心地。かつて「東洋のバリ」と謳われたフランス植民地時代の街並みは、長い内戦の歴史を経て、現在は同国の経済成長とともに建築ラッシュが続く。王宮とシルバー・バゴダ、ワット・フノン、国立博物館等ではケムールの文化と信仰を、トゥールスレーン元強姦収容所、キリング・フィールドでは内戦の歴史と平和の大切さを感じることが出来る。 【シェムリアップ】 シェムリアップは同国北西部に位置し、9世紀から15世紀に栄えたクメール王国の都であった。その遺跡は世界に類をみない規模と寺院数を誇る。30年という年月と2万人の労力をもって造られたアンコールワットでは、完璧な建築技術と精巧な彫刻技法に目を驚かす。巨大で神秘的な四面塔で知られるバイオン寺院を中心とする城壁都市アンコール・トムでは、クメール王朝の栄華と権威を実感することが出来る。現在でもカンボジアの心と文化の拠り所であり、観光地として発展しつつある。

(*注) 参加費には国内交通費を含みません。参加費のほかに、自己負担費用として、海外旅行保険料、パスポート申請費、日本国内交通費、現地交通費、お小遣い(食費含む)などがかります